

談話室

.....



お笑い芸人
大輪教授 さん

profile





埼玉県出身。ケイダッシュステージ所属。R-1ぐらんぷり2006決勝進出。特技は円周率100桁の暗誦。現在「学ドリ」(tvk)にレギュラー出演中。他には「爆笑オンエアバトル」(NHK)など、著書に「ウケる数学!」(メディアファクトリー)がある。

—高校時代はどんな生徒でしたか？

今でこそ、人前に立ちお笑いをしています。特にひょうきん者というわけではありませんでした。文化祭や学園祭では裏方のリーダーみたいな感じで。モノを作ってこっち仕切ってみたいな。

—数学についてはどうでしたか？

数学は、中学までは好きだったのですが、高校に入って急に苦手になってしまいました。高校の数学って学ぶ内容が増えますよね。それにびっくりしている間についていけなくなってしまっただけ。でも、数学そのものは嫌いではなかったです。

—今の道に進もうと思われたきっかけは？

当時深夜ラジオにはまっていたこともあって、ラジオ面白いし、お笑いやってみようかなと。まさか「教授」なんてものになるとは夢にも思いませんでした。 「教授」という名前で行っているせいか、芸人仲間で飲みに行ったりすると、お会計で「さあひとりいくら？」という時に、絶対みんな一斉に僕を見るんですよ。妙に白羽の矢が立ってしまうというか…。逆に、その芸人仲間でも暗算が得意とか理系だったって人間もいっぱいいて、僕に勝とうとするんですよ。「ひとり、三千いくらです！」とかって。そもそも僕は勝負する気とかないのに…。芸人って意外と負けず嫌いの人が多いんですよ。

—数学をネタにしたライブですが、観客の皆さんの反応はどうでしょう？

大人の方は「昔習った！」って懐かしさがあるのか、結構喜ぶんですよ。でも、中学生が本気で嫌がるんです。修学旅行中の中学生の前でライブをやったことがあります。僕その他には物真似をやる芸人とかがいて、それを見て「わー、お笑い楽しー！東京楽しー！」って喜んでいますが、僕が出て行って「じゃあ、ここでちょっと数学のね〜」って言うと「えー————っ！！」って。最初本当のブーイングを受けちゃって。逆に、ネタが終わった後に先生だけスタンディングオベーションでした。「やあ、よくやってくれた」「来た甲斐ありました」って。

—普段はネタの中で言葉の素因数分解をやられていますが、お願いできますか？お題は「数学の先生」です。

僕が出逢ってきたイメージでいいですか？怒られたりしないかな…。では、こんな感じでいかがでしょうか。「数学の先生」はよく「屁理屈」を言っていると。でもそういう「屁理屈」がなくても「頭がよい」と。「頭がよい」っていうと「尊敬される」人。「尊敬」されていないけれど「頭がよい」人は誰かという「芸人」だろうと。

<「数学の先生」の素因数分解>

屁理屈) 数学の先生

尊敬される) 頭がよい

お笑い芸人

数学の先生 = 屁理屈 × 尊敬される × お笑い芸人

—最後に数学の先生にメッセージをお願いします。

数学をお笑いで扱っていて感じるのですが、数学を嫌いな生徒さんって結構多いですよ。でも、数学の先生って数学がお好きだと思えますよね。お好きだということは魅力をご存知なんだと思います。だから、ぜひその魅力を伝えていただければと思います。自分としても、テレビや本やラジオを通じて数学の魅力を伝えていく社会的役割があればと、ちょっと思っています。